



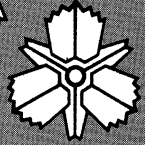
発行所

〒921
金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内

一泉同窓会

電話(0762)42-0211

1994.3.15. 発行



伝統を積み重ね、さらなる飛躍を誓う

一泉創立100周年記念式典盛大に



1993年、創立100周年を迎えた金沢一中・泉丘高校。「一泉創立100周年記念式典」は好天に恵まれた創立記念日の10月15日、金沢市の石川厚生年金会館で、在校生・卒業生・来賓約1,800人が参加して盛大かつ厳粛に行われた。

式典に先立ち、物故者慰霊祭が行われ、澁谷亮治同窓会会長（一中54期）、宮太郎100周年記念事業推進会議議長（一中51期）らが厳かに献花し、全員が黙禱、冥福を祈った。

続いて藪俊彦氏（泉丘16期）による仕舞「枕慈童」が舞われ、ついで泉丘高合唱部108名による一中・泉丘の校歌斉唱、さらに舞台左の大型ビデオに一泉100年の歩みが映し出され、画面に見入ること20分、記念式典の開会となった。

記念事業実行委員会の米谷平平委員長（一中50期）が「郷愁に浸るのではなく、明日への第一歩を踏み出す日としたい」と開会の挨拶を、澁谷同窓会会長は「明治26年の創立以来、一中健児の自覚のもと多くの人材を輩出してきた。いまは伝統は守るものではなく、日々積み重ねていくもの。在校生諸君には21世紀を見据えて努力と、さらなる飛躍をしてほしい」と後輩を激励しました。小西優校長（泉丘5期）の式辞に続き、太田芳枝石

川県副知事、寺西博金沢市収入役、岡本淳一県教育委員長ら来賓が「一泉100年の歩みは石川県政の歩みでもあり、OBの皆さんが各界で広くリーダーとして活躍していることは、石川県の誇り。質実剛健・文武両道をもってさらなる発展を」と、こもごも祝辞を。

元同窓会会長、元校長、教職員ら永年勤続者への感謝状贈呈、島厚夫記念事業実行委員会事務局長から記念事業・行事の発表があり、100周年記念基金目録（一泉同窓会基金・7,500万円）が、米谷実行委員長から渋谷同窓会会長へ贈呈されました。そして生徒を代表して前生徒会長の梅田雅也君（2年）が「一泉魂とはどんなことでも一番を目指すことだと思う。その魂は多くの先輩を通じて、今日の私達にも受け継がれているはずですよ」と喜びの言葉を述べた。

このあと、3年生の井上晶子さんが作詞した記念歌「明日のI（あしたのアイ）」が合唱部によって披露され、指揮は作曲の佐藤真東京芸大教授。「歩いてゆこう 明日に向かい この手で夢を掴もうよ」と澄んだ歌声に聴き入った。

宮推進会議議長の閉会の挨拶、釣谷利夫式典委員長（一中49期）の閉会の辞でしめくくられた。

